

いよいよ動き出した国民会議

CNCP 常務理事地域活動推進部門担当
 東京都市大学 皆川 勝

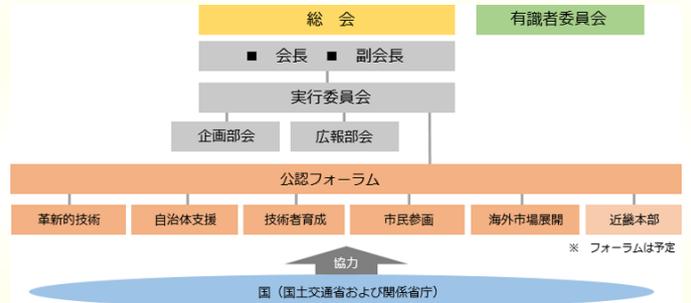


本 CNCP 通信の Vol.32 において「『インフラメンテナンス国民会議』発足」と題して有岡常務理事から、Vol.33 において「『インフラメンテナンス国民会議』近畿本部の発足」として小谷義博氏からそれぞれ、設立時の構想と関係者の思い、並びに、近畿本部フォーラムにおける取組が紹介されました。ここでは、全体像ならびに先行的取組みを紹介すると共に、本部門として担うこととなった「市民参画フォーラム」の狙いを紹介します。

国民会議は、産官学民のプラットフォームであり、様々な主体が参画し、理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図るものです。取組みとしては、①革新的技術の発掘と社会実装、②企業等の連携の推進、③地方自治体への支援、④インフラメンテナンスの理念の普及、⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進が挙げられています。組織としては、上図にあるように実行委員会のもとに企画部会と広報部会を置き、また、自治体支援・海外市場展開・革新的技術・技術者育成・市民参画・近畿本部の各公認フォーラムを置いています。国民会議設立を機に、早速の試みとして「インフラメンテナンス大賞」が創設され、国土交通省・総務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・防衛省が主催して、特に優れた取組み・技術開発を表彰します。各省大臣賞を含む重みのある賞となっています。本年度の応募期限は過ぎておりますが、次年度以降、積極的な応募が期待されています。

上記 6 つのフォーラムのうち CNCP 自治体インフラメンテ研究会としては、国民会議設立準備段階でとくに市民参画の受容性を強調したこともあり、そのフォーラムの事務局を担うことになりました。インフラメンテナンスへの市民参画と言ったときに、よく話題になる取組みに、地域において経験豊富な市民が橋の変状などを点検する橋守の活動や、市民が公共物に異変があったときに自治体に報告する活動などがあります。これらの活動は、特にインフラに関わる技術者不足や予算不足に悩む中小自治体などでは一定の要望があると思われ、制度的な課題は大きくないと思います。

一方、市民の財産であるインフラのメンテナンスに関わる意思決定・政策決定等には、納税者でありインフラの受益者である市民の意見をどう取り入れていくかが財政難の中小自治体にとっては重要な課題となります。技術者や自治体職員は謙虚に市民の声に耳を傾け、すべての情報を包み隠さず公開し理解されるまで説明を尽くして施策をまとめ実施してゆくことが求められています。このフォーラムでは、これまでの意思決定に関わる市民参画の成功事例から学びとり、そこから得た知見をインフラメンテナンスに活用して、各地域で市民と行政の協働が促進するための土台づくりをしたいと思います。



市民参画フォーラムの概要(案)

目標：産官学民による国民的運動として、インフラメンテナンスと市民参画の意義について市民が理解を深め、自治体が市民参画の意義を認識、各地域で市民と行政の協働が促進する。

活動項目

- ① フォーラム：ワークショップを通じて市民参画の基本的枠組みの構築ワークショップ
 - ・自治体課題：自治体支援フォーラムからの課題の検討。
 - ・技術革新：革新的技術フォーラムとの連携により市民参画支援技術の活用事例収集と水平展開。
- ② 理解促進イベント：一般市民と企業市民が参加する世代を超えたイベント実施。
- ③ 地域ミニフォーラム：意欲のある地域を選定し、行政・市民・民間団体で地域ミニフォーラムを開催。管理計画等についてワークショップ実施。市民参画の好事例を中心とした地域イベント開催。

具体的内容

- ①フォーラム(事務局会議含む)
 - ・全体の活動内容について検討
 - ・市民参画の基本に関する勉強会
 - ・市民参画の先行事例・好事例の紹介(広報部会)
 - ・自治体課題の検討(自治体支援)
 - ・革新的技術支援の事例収集(革新的技術F)
- ②理解促進イベント
 - ・インフラメンテナンスを見える化する。
 - ・社会に貢献することの意義を知る。
 - ・市民が参画することの意義を知る。
 - (例)小学校や町内会などと連携した市民参画による点検実証活動。Greenbird等を参考に。
- ③地域ミニフォーラム
 - ・自治体支援Fの情報から対象地域を選定。コーディネータを含む支援グループを派遣して、地域において行政・市民・民間団体を含むフォーラムを継続的に開催。
 - ・地区協議会の設置の意義などについて研究。
 - ・インフラメンテに限らず市民参画の成功事例を有する地域において、それを中心に選定したミニフォーラムを実施。(例)白糸ハイランドウェイにおけるWS成功事例 気仙沼市での防波堤設計におけるWS成功事例

連絡先は (minatororo@gmail.com 皆川勝)